

# 第7区 まちづくり計画



平成24年 3月  
第7区 自治会

# 基山町第7区まちづくり計画 目次

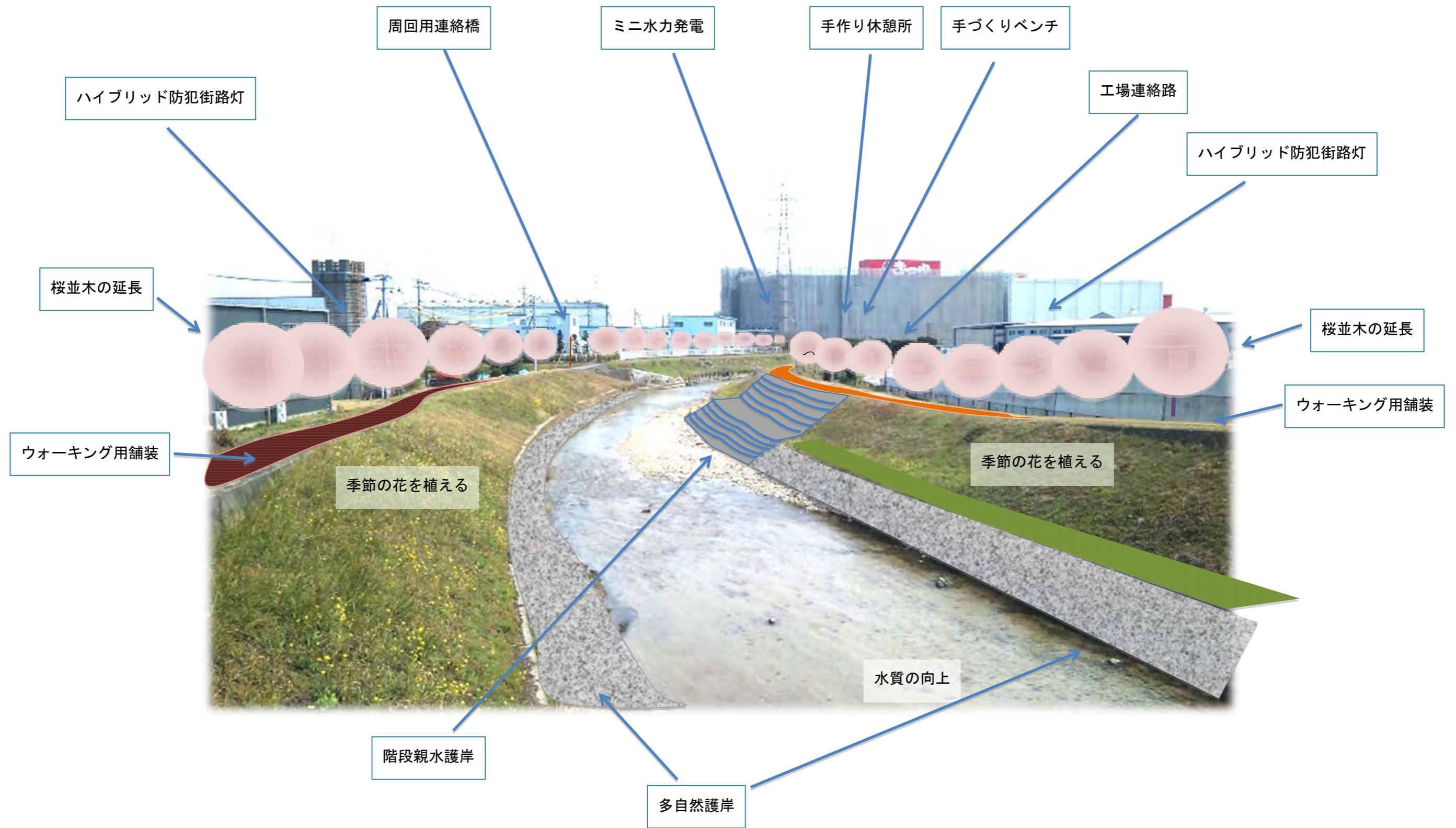
## 目次

■基山町第7区まちづくり計画	A
I まちづくりのテーマ	
1. 環境に配慮しつつ、コミュニティが豊かで、地域資源を活かす地域づくり	1
2. 第7区らしさ	2
3. まちづくりのテーマ	3
II テーマ別行動計画	
1. 環境美化活動を推進するまちづくり	5
2. 安全で安心して暮らせるまちづくり	7
3. 伝統文化をみんなで支えるまちづくり	8
III リーディングプロジェクト	
1. 個別リーディングプロジェクト	10
(1) 秋光川さくら遊歩道の整備	
(2) 地域調査と各種マップづくり	
(3) 桜まつり等、遊歩道を活かすイベントの実施	
2. 総合的リーディングプロジェクト	12
IV 実行・実現への道筋	
1. 推進体制	13
2. 協働のまちづくり推進に向けて	14
■基山町第7区まちづくり計画策定の記録	15

■基山町第7区まちづくり基本計画

テーマ	サブテーマ	まちづくりの展開	まちづくりのメニュー	内容	短期	中期	長期	地域	行政	協働	リーディング事業
<p>桜でつなぐ心の絆</p> <p>自然と歴史が息づくまち</p> <p>7区</p>	<p>環境美化活動を推進するまちづくり</p>	<p>地域への思いと現状を知る</p> <p>↓</p> <p>未来図を描く地域の見直し</p>	さくら遊歩道の整備と管理	現在の活動を継続しつつ河川公園としての整備							<p>秋光川</p> <p>さくら遊歩道の整備</p> <p>秋光川河川公園として区民や来街者が気持ちよく憩える河岸遊歩道づくりを協働事業として行う。また、自然再生事業等による環境改善や水質の向上に取り組むとともに維持管理体制づくりを検討する。</p>
			・ 植樹・植栽の推進と管理	四季折々に楽しめる植栽や樹種の選定	○			○			
			・ 手づくりベンチと休憩所の設置	地域の手づくり休み所（物語があればなおよい）	○	○		○	○	○	
			・ 街路灯の整備	ハイブリッドの防犯灯を兼ねた街路灯を検討	○			○	○	○	
			・ 遊歩道の舗装と周遊化	周回コースづくりの中で橋も検討	○		○	○	○		
			・ 遊歩道名称の募集	親しみやすい名前を公募	○			○			
			・ 工場と遊歩道の接続	秋光川に面している工場と行き来できる工夫		○		○		○	
	<p>安全で安心して暮らせるまちづくり</p>	<p>↓</p> <p>これまでの活動を活かす</p> <p>↓</p> <p>地域にこだわる秋光川歴史資源伝統行事</p>	ゴミ置き場の実態調査	ゴミ出しルールの徹底とゴミ置き場の管理	○					○	<p>地域調査と各種マップづくり</p> <p>地域課題の調査とマップづくりを目的別に一つずつ作成し、整備とコミュニティづくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイハザードマップ</li> <li>・ 防犯・安全マップ</li> <li>・ 7区散策マップ（歴史）</li> </ul>
			防災無線の充実	緊急時の連絡手法と体制の検討		○				○	
			7区マイハザードマップ作成	組単位でのマップづくり	○				○	○	
			避難訓練の実施	災害時における災害弱者の避難支援	○				○		
			防犯・交通危険箇所調査	日常生活での危険箇所を調査	○				○	○	
			防犯・安全マップの作成	危険箇所調査を受けてマップづくり	○				○	○	
			子ども見守り隊の発足	ウォーキングがてらの見守り活動	○				○		
	<p>伝統文化をみんなで支えるまちづくり</p>	<p>↓</p> <p>コミュニティを深める</p> <p>↓</p> <p>ふるさと7区</p>	110番の家の充実	手づくり看板づくりを通して周知を図る	○				○		<p>桜まつり等、遊歩道を活かすイベントの実施</p> <p>さくら遊歩道を活用したスケッチ大会や撮影会など地域の負担にならないイベントづくりを心掛け、区民のみならず区内の企業等も参加できる仕組みづくりを行い、伝統的行事の継承に繋げていく。</p>
			公民館活動（出前講座等）の充実	公民館の利活用をスムーズにする工夫	○				○		
			集落お宮散策とマップづくり	集落にある歴史的資源の再発見	○				○		
			ドンキャンキャン等伝統的行事の振興	伝統的行事の継承と伝承を行う		○	○		○		
			工業団地企業等との交流の場	地域と工場の相互交流を図る			○			○	
			JRウォーキング等の誘致企画	コースの検討と甘木鉄道を活かした企画			○			○	
			野口調整地の整備活用	グランドゴルフやイベント会場として活用	○					○	
	桜まつり等のイベントの実施	遊歩道を活かしたイベント企画	○				○				
	さくら基金の創設	7区やさくら遊歩道を愛する人で創設	○					○			

リーディングプロジェクト：秋光川さくら遊歩道の整備および自然再生・親水化事業



## I まちづくりのテーマ

### 1. 環境に配慮しつつ、コミュニティが豊かで、地域資源を活かす 地域づくり

環境への関心の高まりの中で、人々の生活の価値観も変化しつつあります。

それは、モノより心の豊かさ、量より質、効率より潤いへ、より自分らしい生き方を尊重するライフスタイルへ変化してきています。

このような生活に関する価値観の変化は、地域に対する考え方にも表れ、特に東日本大震災以降、安全で安心な暮らしを求めるようになりました。

これからの地域づくりでは、「環境に配慮しつつ、コミュニティが豊かで、地域資源を活かす地域づくり」が目標となると思われます。

この多岐にわたる地域づくりを生活環境の整備から交流、伝統行事の継承から人材育成といったことがらを多様なレベルで調和させ、地域の個性や快適さを醸しだし、コミュニティ豊かな地域にするためには、まず、そこに住む住民が自ら地域の将来像を描きだし、自分たちの力で積極的に推進していくという姿勢が必要です。

地域の個性や快適さは、人それぞれに感じるものが違いますので、地域づくりに対する合意を形成していくことが大切になってきます。

もちろん歴史に育まれたコミュニティも残っていますが、様々なまちづくり活動を通して新しい時代に応じたコミュニティを再構築していくことも必要です。

## 2. 第7区らしさ

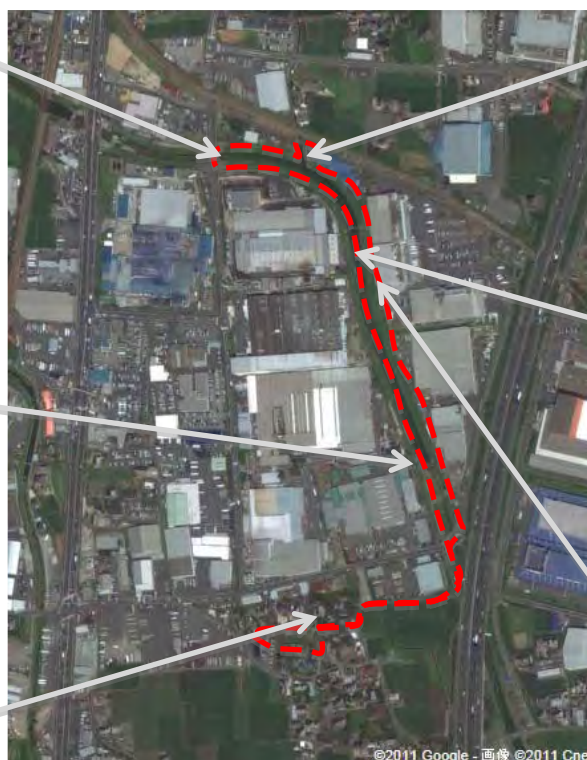
第7区のまちづくりでは、第7区がもっている個性を活かして、基山町の他の地域や周辺地域とは違う地域づくりをしていくことが大切であると思います。

では、第7区らしさとは何でしょう。

第7区を特徴づけているものとして、交通幹線（国道3号、九州自動車道、JR鹿児島本線、甘木鉄道）が南北もしくは東西に通る交通の便がよく、北西から南東に流れる秋光川の低地とその両側に工業団地が立地していますが、コミュニティ豊かな古くからの集落も息づいていることです。

特に、秋光川沿線では、地域の方々の努力で、さくら遊歩道の整備が進みつつあり、第7区のまちづくりのシンボルとなっています。

これらの特徴、人的な資源、各集落に存在する歴史的資源などを活用しつつ、新たな色づけを検討していくことが第7区のまちづくりには必要です。



### 3. まちづくりのテーマ

第7区の個性を活かし、魅力的な地域にしていくためのまちづくりの総合テーマを

#### **桜でつなぐ心の絆 自然と歴史が息づくまち 7区**

とし、この総合テーマをより具体的に展開する3つのサブテーマで構成します。

#### ①総合テーマ

#### **「桜でつなぐ心の絆 自然と歴史が息づくまち 7区」**

第7区は、基山町の南部の平地にあり、国道3号やJR鹿児島本線などで分断され、工業団地が多くの面積を占めているものの、古くからのコミュニティが息づいている地域です。

#### **「桜でつなぐ心の絆」は、**

第7区が取り組まれている秋光川のさくら遊歩道づくりで、地域が有している豊かなコミュニティを残すとともに新たな展開で新しい地域の絆を構築していこうという気構えを表しています。

#### **「自然と歴史が」は、**

工業団地が目立つ第7区ですが、地域をみていくとそこには古くからの集落とともに集落ごとにある寺社仏閣があり、伝統的な行事も継承されています。

工業団地造成で失われかけた自然環境も地域の方の水質改善への取り組みやさくら遊歩道づくりへの取り組みで関心が高まっています。

#### **「息づくまち 7区」は、**

歴史や自然を活かしたまちづくりを展開していこうという意気込みと地域のコミュニティの豊かさをしめしています。

天気の良い日は、さくら遊歩道を楽しみながら、集落ごとの神様を巡るウォーキングやサイクリングをするのも良いのかもしれません。そのような景観環境と生活環境を整えていくことが「第7区」のテーマです。

## ②サブテーマ1：「環境美化活動を推進するまちづくり」

環境美化というと集落で行う清掃活動を思い描かれる方も多いとおもいますが、ここでいう環境美化活動は、地域環境の改善活動まで含めたもので、秋光川沿線のさくら遊歩道づくりとその維持管理活動が中心となります。

もちろんそこには、自宅や集落での美化活動を行うことが基本としてありますが、秋光川の環境整備は、環境改善に取り組む7区のシンボリックな活動として位置づけられます。

区民も来街者も憩える場づくりを通して、周辺企業との連携・交流や地域のコミュニティの醸成を図っていきます。

## ③サブテーマ2：「安全で安心して暮らせるまちづくり」

7区は、交通の要衝であるが故に、危険箇所も多くあります。

また、工業団地があつたり、通学途中で人の目が行き届かないところがあるなど防犯上の問題箇所もあります。

加えて、秋光川の周辺の低地が広がっており、洪水や内水氾濫の危険性もあります。

安全で安心な暮らしのために地域の現状をみんなで確認するようなマップづくりを行うとともに、そのマップを活かした活動や防災体制づくりを区民で検討することが必要です。

## ④サブテーマ3：「伝統文化をみんなで支えるまちづくり」

第7区では、様々な組織が年間を通して数多くのイベントや歴史的行事が行われており、それらを運営する多くの人たち（組織）も活発に活動しています。

しかしながら、工業団地の企業との連携や世代間の交流などを通した行事の継承、活動資金などの課題が多くあります。

やはり、全体としての第7区で取り組むべきであり、そのためには、地域を構成する様々な団体と行政との連携を図り、第7区を楽しむ、第7区を知る、第7区を売り出すなど行事の体系化を図っていくことが必要です。

また、訪れた方が分かりやすいように案内板の設置や自立した運営へ向けた仕組みづくりをする必要があります。



## II テーマ別行動計画

### 1. 環境美化活動を推進するまちづくり

ここでは、秋光川沿線のさくら遊歩道づくりとその維持管理活動が中心に事業を示していますが、自宅や集落での環境美化活動を行うことが基本としてあります。

#### ○さくら遊歩道の整備と管理

秋光川の環境整備は、現在の活動を継続しつつ河川公園としての整備を図っていくもので、環境改善に取り組む7区のシンボリックな活動として、区民も来街者も憩える場づくりを行い、周辺企業との連携・交流や地域コミュニティの醸成を図っていきます。

#### ①植樹・植栽の推進と管理

現在、秋光川右岸にさくらの植樹とあじさいが植えられています。また、皇帝ダリアも試験的に植えられています。

このような取り組みを続け、両岸を四季折々に楽しめる植栽や樹種で満たしていきます。

#### ②手づくりベンチと休憩所の設置

現在、休憩できるような場所はありません。やはり、そこには、花を愛でる場所、散策の途中で一息つける場所やトイレが欲しいものです。

地域の手づくり休み所を創っていきます。間伐材をりょうしたり、写真は、イギリスのテムズ川遊歩道の例ですが、寄贈を受ける仕組みづくりをして、秋光川さくら遊歩道に物語性を持たせるのも一考です。



### ③街路灯の整備

夜間や夕暮れの安全を考えると防犯灯を兼ねた照明が一定の間隔で欲しくなります。

環境を考え、LED 照明もしくはハイブリッドの防犯灯を兼ねた街路灯を検討します。

また、堰の落差を利用したミニ水力発電も視野に入れ、検討します。

### ④遊歩道の舗装と周遊化

右岸の整備は進んでいますが、左岸まで含めた周回コースづくりを計画します。

左岸には、小河川との合流点があり、迂回をしなければ行けません。現時点では、難しいかもしれませんが、将来のためにも遊歩道用の橋も検討します。

### ⑤遊歩道名称の募集

秋光川さくら遊歩道でもいいのですが、親しみやすい名前を公募するのもこの遊歩道の認知度を上げるのに効果的と思われます。

### ⑥工場と遊歩道の接続

遊歩道の区間の秋光川は、川に面している工場のフェンスと壁面で閉ざされています。

工場と遊歩道をつなぐことは、工場の従業員の方にも気軽に楽しんでいただくとともにいざというときの逃げ場にもなります。

工場のフェンスを利用できるなら、ウォール美術館として子ども達の絵を展示活用してみてもどうでしょうか。

### ⑦みどりの日の継続

毎月7日の除草等の活動が行われています。大変な作業ですが、地域でしっかり話し合っ、負担にならない仕組みと区以外の方でも気軽に参加できる仕組みを検討します。

## 2. 安全で安心して暮らせるまちづくり

安全で安心な暮らしのために地域の現状をみんなで確認するようなマップづくりを行うとともに、そのマップを活かした活動や防災体制づくりを区民で検討することが必要です。

### ① 7区マイハザードマップ作成

7区は、北西から南東に秋光川が流れていて、その周辺は低地となっています。場所によっては、洪水や内水氾濫の危険性もあります。

水害・地震などの災害に対応する組単位でのマップづくりを行うと同時に要援護者や災害弱者に対応した支援の仕組みを検討します。

### ② 避難訓練の実施

ハザードマップを作成したら、実際の災害を想定して避難訓練をしてみます。災害時における災害弱者の避難支援がうまく行ったか、避難経路は大丈夫かなどをチェックしてみます。

### ③ 防災無線の充実

屋外型の防災無線は、豪雨のときは聞きづらいものがあります。そこで、防災無線の充実とともに緊急時の地域での連絡手法と体制の検討します。

### ④ ゴミ置き場の実態調査

ゴミ出しルールの徹底とゴミ置き場の管理がうまく行っているか、危険な箇所はないかなど実態を把握するとともに必要に応じて改善を図っていきます。

### ⑤ 防犯・交通危険箇所調査

7区は、交通の要衝であるが故に、危険箇所も多くあります。また、工業団地があつたり、通学途中で人の目が行き届かないところがあるなど防犯上の問題箇所もあります。

日常生活での危険箇所を調査し、情報を共有します。

### ⑥防犯・安全マップの作成

危険箇所調査を受けてマップづくりを行います。危険の項目ごとに分けて作成し、重ね合わせていきます。あまりにゴチャゴチャするようだったら、項目ごとにします。

### ⑦子ども見守り隊の発足

ウォーキングをする人が増えています。できれば、ただウォーキングをするのではなく、子どもの通学時間帯にしてくださいとできれば、見守り活動につながります。

### ⑧110番の家の充実

手づくりの110番の家の案内板を募集することによって周知を図る。

## 3. 伝統文化をみんなで支えるまちづくり

第7区では、様々な組織が年間を通して数多くのイベントや歴史的行事が行われており、それらを運営する多くの人たち（組織）も活発に活動していますが、工業団地の企業との連携や行事の継承、活動資金などの課題が多くあります。

やはり、第7区全体として、地域を構成する様々な団体と行政との連携を図っていくことが必要となります。

### ①公民館活動（出前講座等）の充実

公民館活動は非常に盛んであり、かなり高度な講座も開催されていますが、公民館に出て来れない人やその利活用をスムーズにする工夫を行います。

### ②集落お宮散策とマップづくり

7区の各集落にある歴史的資源の再発見するとともにマップ化し、さくら遊歩道なども取り入れた散策コースづくりを行います。

### ③ドンキャンキャン等伝統的行事の振興

7区にのこる伝統的行事の継承と伝承を少子化に対応した仕組みづくりや呼びかけを行うとともに次代を担う子ども達や若者の育成を図ります。

### ④工業団地企業等との交流の場

工業団地の企業も地域の宝です。地域と工場の相互交流を通して地域の一員として協力してもらうような環境づくりを行います。

### ⑤JRウォーキング等の誘致企画

JRウォーキングコースの検討と誘致や甘木鉄道を活かした企画を立てることによって来街者の増加を試みます。

### ⑥野口調整地の整備活用

グランドゴルフやイベント会場として活用するとともに維持管理を検討します

### ⑦桜まつり等のイベントの実施

さくら遊歩道を活かし、整備の促進を図るイベント企画を行います。

例えば、スケッチ大会、写真コンテスト、植樹祭、1人1木（〇〇記念樹）、1人1花（マイ花壇）等

### ⑧さくら基金の創設

7区やさくら遊歩道を愛する人で創設し、さくら遊歩道の維持管理の費用や新たな仕掛けの基金とします。

### Ⅲ リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクトは、いくつかある提案された事業の中で、取りかかりやすく、また、ほかのプロジェクトに波及する要因をもっているもので事業展開の先導的な役割を果します。

#### 1. 個別リーディングプロジェクト

##### (1) 秋光川さくら遊歩道の整備

秋光川河川公園として区民や来街者が気持ちよく憩える河岸遊歩道づくりを行政や企業との協働事業として行う。また、自然再生事業等による河川環境改善や水質の向上に取り組むとともに維持管理体制づくりを検討する。

関連プロジェクトにあげられている「手づくりベンチと休憩所の設置」・「遊歩道名称の募集」・「JR ウォーキング等の誘致企画」などは、「桜まつり等のイベントの実施」の中で企画として盛り込むことも考慮する。

さくら遊歩道づくりを含めた、秋光川河川公園づくりの全体計画を地域・行政・企業と協働で検討・策定し、長期にわたって整備していくことが望まれます。

##### (関連プロジェクト)

- 植樹・植栽の推進と管理
- 手づくりベンチと休憩所の設置
- 街路灯の整備
- 遊歩道の舗装と周遊化
- 遊歩道名称の募集
- 工場と遊歩道の接続
- みどりの日の継続
- 7区マイハザードマップ作成
- 工業団地企業等との交流の場
- JR ウォーキング等の誘致企画
- 桜まつり等のイベントの実施
- さくら基金の創設

## (2) 地域調査と各種マップづくり

地域が抱える課題を検討し、課題ごとの地域調査を行い、目的別のマップづくり（例：マイハザードマップ・防犯・安全マップ・7区歴史散策マップ）を行うことによって、地域の環境整備の改善とコミュニティづくりを推進する。

(関連プロジェクト)

- さくら遊歩道の街路灯の整備
- ゴミ置き場の実態調査
- 7区マイハザードマップ作成
- 避難訓練の実施
- 防犯・交通危険箇所調査
- 防犯・安全マップの作成
- 110番の家の充実
- 子ども見守り隊の発足
- 集落お宮散策とマップづくり
- JRウォーキング等の誘致企画

## (3) 桜まつり等、遊歩道を活かすイベントの実施

さくら遊歩道を活用したスケッチ大会や撮影会など地域の負担にならないイベントづくりを心掛け、区民のみならず区内の企業等も参加できる仕組みづくりを行い、伝統的行事の継承に繋げていく。

(関連プロジェクト)

- 手づくりベンチと休憩所の設置
- 遊歩道名称の募集
- JRウォーキング等の誘致企画
- さくら基金の創設
- 工業団地企業等との交流の場
- ドンキャンキャン等伝統的行事の振興

## 2. 総合的リーディングプロジェクト

秋光川を活かした親水性の高い河川公園指定を目指した計画づくりを地域・行政と協働で行う。

一方、さくら遊歩道の整備・維持管理にあたっては、地域・行政・企業と協働で取り組む体制づくりを行うとともにさくら遊歩道を活かしたイベント企画などソフト事業を展開する。

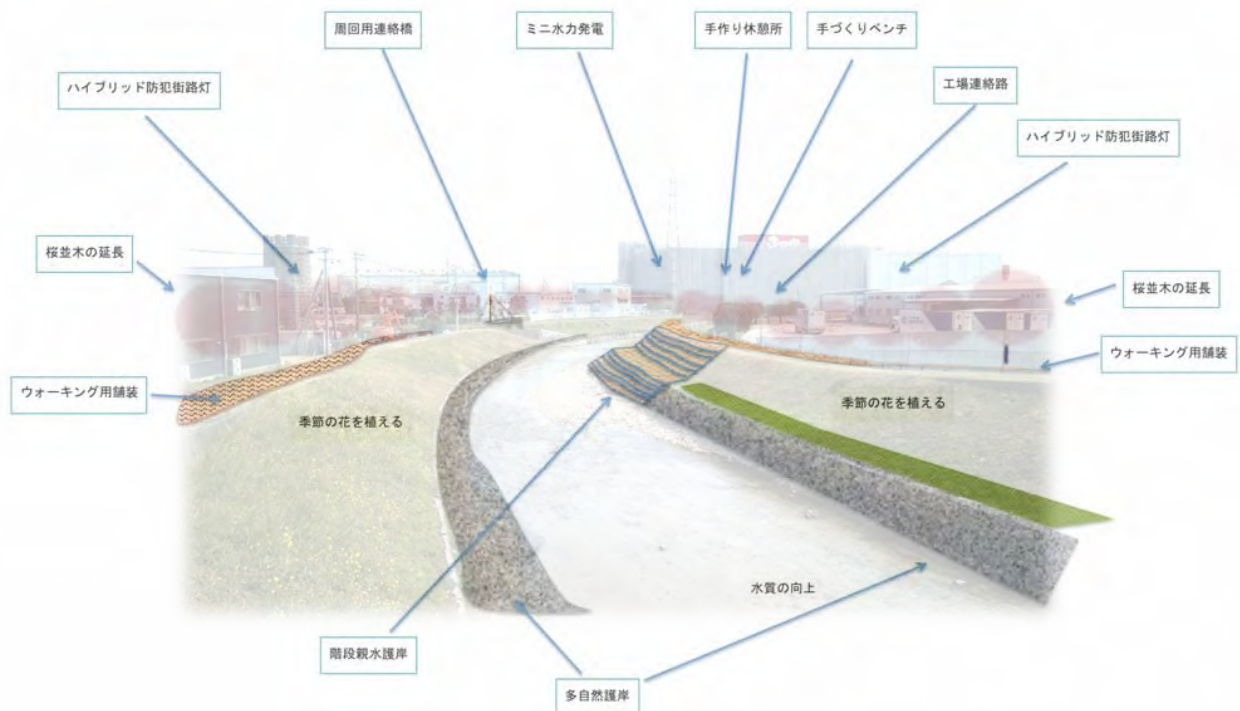
### 「秋光川さくら遊歩道の整備および自然再生・親水化事業」

目的： さくら遊歩道を中心とする親水型河川公園の計画・整備と遊歩道区域を活用したイベントの開催

#### 検討項目

ハード： 親水護岸、多自然型護岸、周回用散策橋  
ハイブリッド街路灯、ウォーキング舗装  
手づくりベンチや休憩所、WC、工場連絡通路 等

ソフト： ベンチづくり講習会、スケッチ大会、  
フォトコンテスト、名称募集、ウォーキング大会  
記念植樹（1人1木）、マイ花壇（1人1花）、  
水質浄化活動、釣り大会、水辺教室 等





## IV 実行・実現への道筋

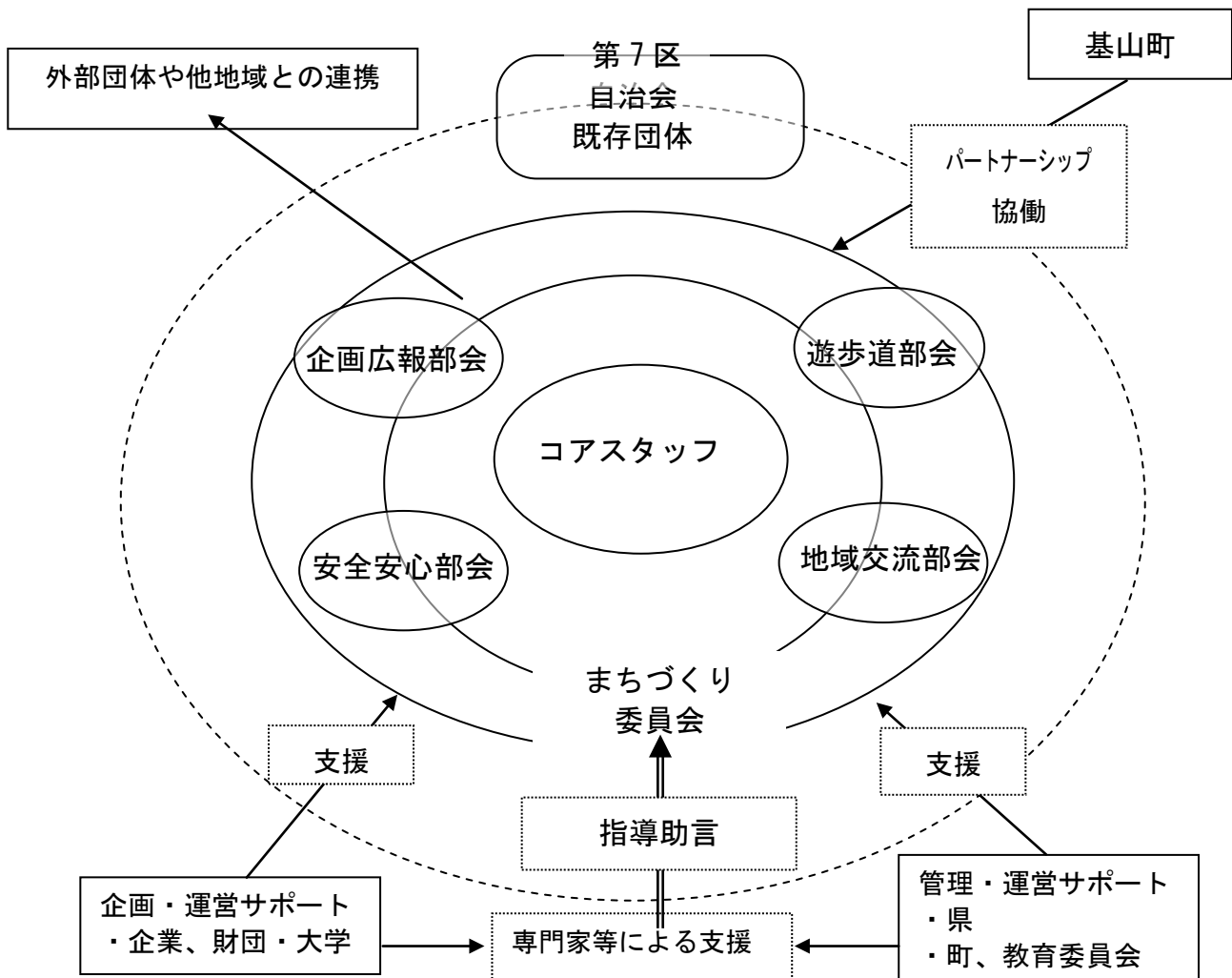
### 1. 推進体制

まちづくりは、ソフト事業からハード事業まで多岐にわたり、しかも長期的につづく息の長いものです。

個々のプロジェクトやイベントなどが積み重ねられることによって、第7区の魅力創出という一定の成果をあげていくためには、第7区の地域全体から見たまちづくりの方向づけやコーディネート機能、事業の展開などをまちづくり委員会が中心となって行い、区民の合意形成を図っていく必要があります。

また、まちづくり委員会は、行政や地元企業などと協働事業の展開を仕掛けるとともに地域の負担にならないような財政計画や広報計画を立てる必要があります。

そして、地域運営組織やその事務局、みんなが集まって協議できる場が必要になると思われます。



## 2. 協働のまちづくり推進に向けて

そのような中で、個々のプロジェクトを1つひとつ実現していくためには、まちづくりの方向（目標など）に対する関係機関の連携と実践および区民の幅広いコンセンサスと第7区のまちづくりにたいする盛り上がりが必要になります。

その上で、委員会がやるべきこと、地域がやるべきこと、行政がやるべきことの役割分担と協働作業がでできます。

実行や実現化に向けては、個々のプロジェクトごとに適用可能な制度・手法を捜し、制度の適用について、委員会と行政および企業が十分に検討した上で、制度だけではできない部分については、知恵と汗を流して工夫していくことが必要です。

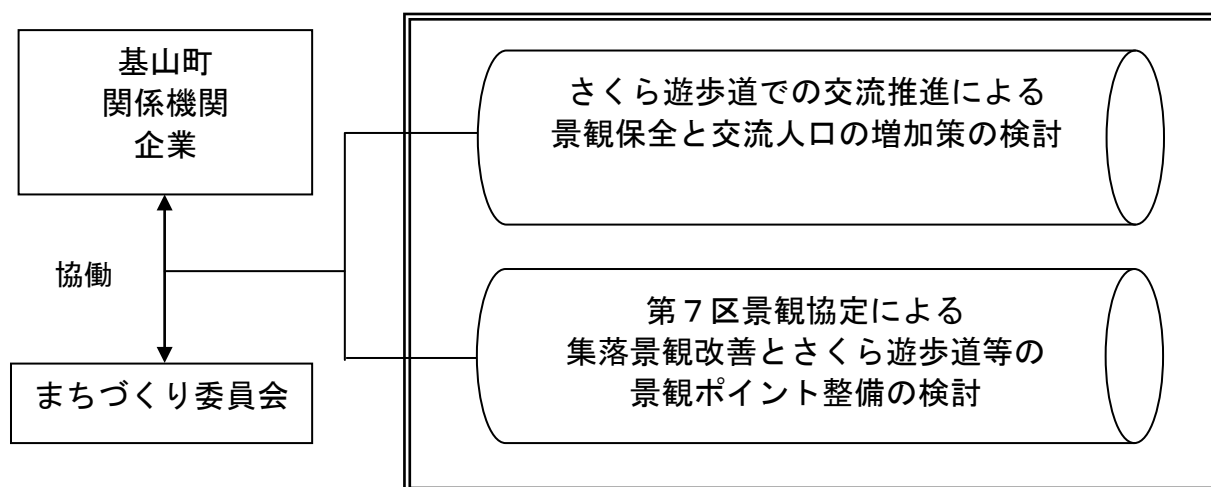
第7区における環境整備は、道路空間の整備、河川空間の整備、集落や工業団地の景観整備に関する事に分かれます。

「通り」や「河川」の環境整備は、国道・県道・町道のように、行政が主体となっていく場合とアダプト制度のように管理を地域団体が行う場合とが考えられますが、前者においても計画段階で何らかの形での協働は考えられます。

これから検討する「集落景観」・「さくら遊歩道」沿いなど景観ポイントを整備していくことを盛り込んだ「第7区景観協定」を検討してはいかがでしょうか。

集落整備に関しては、「まちなみ協定」等による補助・支援制度等があります。

ただ、これらの制度に頼るのではなく、集落協定づくりを通して住民自らが積極的に参加することが大切と思われます。





基山町第7区まちづくり計画報告書

---

平成24年3月

基山町第7区まちづくり委員会